

# 2025 SL KARTMEETING / FESTIKA Circuit MIZUNAMI SERIES

## ドライバーズブリーフィング通知



開催サーキット： フェスティカサーキット瑞浪

J A F 格式 ; クローズド

大会事務局 2025年2月20日改訂

### 必ずお読みください

#### 大会開催にあたり、参加者の皆様へのお願い

※ご来場後に体調に異変を感じた場合は、すみやかに大会事務局（1F 受付）までお申し出ください。

- 1、ピット、パドック内は火気厳禁です。火器類の取り扱い注意事項を無視したドライバーやピットクルー（登録メカニック）は、当該レース失格となり参加を取り消される場合がありますのでご注意ください。  
**注）火災事故発生につき参加者において消火器を準備ください。（ABC 粉末タイプで4型 1.2K 以上）**
- 2、**パドック内では、エンジンの始動チェックのみ行えます。**（パドック内の暖気・から吹かしは禁止）  
ダミーグリッドでは、ダミーグリッドにて進行長の指示に従って行うことができます。  
**※エンジン暖気に関する違反は、ペナルティの対象となります。**
- 3、工具（エアージェージ除く）を使ったメカニカル作業はピットエリアでのみ行えます。指定外のエリア作業はペナルティとなります。赤旗中断後の作業は、競技委員からの指示が出たあとピットエリアで作業が可能です。また、ドライバーに出すピットサインは、ピットサインエリアでのみ出すことができます。ピットサインエリア外でサインを提示したり、ドライバーに指示を送るとペナルティとなります。
- 4、コース上では必ずドライバーサインを出し、周りのカートにアピールするようマナーの徹底をお願いします。  
**※エントラントおよび、チーム関係者の方もドライバーへの指導にご協力ください。**
- 5、ピットロード、ピットエリア走行は徐行厳守で、スルーは禁止です。スルー走行の場合ペナルティとなります。
- 6、公式練習中のタイヤは、すべてのクラスにおいて指定メーカーのコンパウンドタイヤの使用となります。  
また、タイムトライアルはすべてのクラスにおいて指定コンパウンドタイヤを使用し、タイムトライアル走行終了後に車検場でタイヤ封印されます。 **※ゼッケン未記入の場合の対処は特別規則書に準じます**
- 7、指定のフロントフェアリングの取り付けは、ダミーグリッドでもパドックでも可能とします。  
競技終了後、車検前に全車装着状態の確認があります。※抜き打ちで取り外しを命ぜられる車両があります
- 8、公式練習、タイムトライアル、予選、（プレファイナル含む）はダミーグリッドからのスタートです。  
ファイナルヒートのみコース上からスタートとなり、コース上もダミーグリッド扱いになります！
- 9、タイムトライアル開始後は、ピットエリアに入ることはできません。
- 10、タイムトライアル開始後、位置取りの複数回の車線変更やレコードラインでの低速走行、タイムアタック中の車両妨害にあたる行為はペナルティの対象となります。また、後方のカートにラインを譲る場合は、レコードラインを開け、譲る側をしっかりと示すドライバーサインを必ず出すようにしてください。
- 11、予選ヒート、ファイナルヒートのコースイン後は、1周のウォームアップ走行を導入します。  
ウォームアップ走行終了後、2列の隊列を迅速に整え、グリッド順にて走行してください。  
ローリングペースが速い場合はDOWNボード提示、良い場合はKEEPボードを提示します。  
隊列を大きく乱したり、隣のカートと接触するような悪質な行為の場合は、積極的に白黒旗が提示されたり、ポジション降格（1～10ポジションダウン）やタイム加算等のペナルティが入ります。

- 12、フォーメーションラップ中のポジション復帰禁止区間は、第⑪コーナー進入手前のコース両サイドに設置されたパイロンを結んだ赤い線上を通過した箇所からスタートラインまでです。隊列を引っ張る先頭グループは、7コーナー通過後「通称；たこつぼコーナー」立ち上がり付近でペースを落としながら隊列を整えるべくローリングスピードを調整し、2列の隊列を形成するようにしてください。また隊列から大きく遅れた車両には、白地に赤バツテンのボードが提示される場合があります。提示後は隊列に近づいたとしても、最後尾（または最後列）からのスタートとなります。 ※ミススタートになった場合でもポジションの復帰は出来ません
- 13、フォーメーションラップ中、第⑪コーナー進入手前のコース両サイドに設置されたパイロンに、隊列の先頭集団が差しかかった時点でピットからのスタートはできません。
- 14、隊列に出すスタート合図は、コース右側信号の赤点灯から消灯（ブラックアウト）になった瞬間といたします。赤信号が消えない場合は再フォーメーションとなり、メインポストからもう1周の合図を提示いたします。 ※スタートが切られた場合は、メインポストからピットエリアに知らせるため日章旗を振ります。
- 15、スタート合図の際、ドライバー本人のミスで遅れてもミススタートとはせずレースが続行されます。悪質なポジション取りや隊列を乱す行為には、白黒旗が出て警告をします。繰り返すとペナルティとなり、グリッド降格、成績にタイム加算や最後尾（または最後列）スタートとなります。
- 16、スタートタイミングは25Mラインを超えてポールから加速が許されます。他のドライバー、特に2番手ポジションはポールに合わせることであります。ただし、ドライバー自身のアクセル操作ミスや故意なブレーキングなどは審議されます。悪質なドライバーはグリッド降格や最後尾（または最後列）スタートとなります。
- 17、雨天時、雨の量が多く2列でのスタートが危険と判断された場合はグリッド表の隊列ではなく、1位を先頭に1列のフォーメーションでローリングを行います。 ※この場合、ホームストレート中央付近を走行し、コリドー白線は使用しません。スタートまでは追い越しは出来ず、スタートラインを越えてから追い抜きが可能です。安全を考慮し進行しますので、周回数減やイエローコーションでレース終了などもあります。
- 18、タイムトライアル中、コース外走行（トラックリミット）でタイムアドバンテージを得る行為はペナルティカタログに準じペナルティとなります。この場合複数回の違反が確認された場合、タイムトライアルの成績タイムをペナルティカタログに準じ抹消します。オフィシャルと競技役員が目視、ビデオ判定とします。対象区間は、2コーナー侵入手前外側（ピットレーン合流付近）とします。その後の各ヒートにおいても、コース外を走行しての危険な接触や危険な復帰などはすべて審議になります。
- 19、競技中にコースオフィシャルが緊急の事態やトラブル車両の確認などでポストから移動する場合があります。手振りフラッグとデジタルフラッグの共用運用になり、そのフラッグから対象車両までイエロー区間となります。 ※デジタルフラッグの説明、緊急対応はデジタルフラッグ公式通知を参照ください。また、走行中の多重クラッシュや大きなアクシデント発生時、ドライバーの意思に関係なく救済に入ることがあります。その場合、状況によってはレースに戻ることができます。オフィシャル救済によって即リタイヤという判断にならない場合やレース後にペナルティの場合があります。
- 20、各ヒート終了後、各車両はピットイン後車検場にて検査を受けてください。レース途中でリタイヤしていた参加者は車検を受けることが望ましいですが、車検を受けなかった場合、当該ヒート未車検扱いとなり失格となります。また、部品やその他の装備違反等が、前の車検でクリアしていても、最終ヒート走行後に違反が発覚した場合は当該ヒート失格（NG）となります。
- 21、上位入賞カート、車検委員長が指定したカートは車両保管を受け、エンジンなどのオープン検査を行います。
- 22、競技の詳細規定、注意事項は、2025 瑞浪 SL 特別規則書を必ずご確認ください。 ※公式通知を含みます
- 23、リタイヤの場合、所定の「リタイヤ届」にエンタラント・ドライバーの署名をして大会事務局に提出ください。
- 24、参加者はレース終了後の表彰式に参加し、終了後はピットパドックの片付け、清掃をお願いいたします。